

2016年

安全報告書



わたらせ渓谷鐵道株式会社

1. お客様をはじめ、地域の皆様へ

はじめに、平成29年5月22日に発生いたしました水沼～花輪駅間における列車脱線事故による運休のため、平素ご利用いただいているお客様、関係の皆様方には大変なご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

事故の再発防止のため運休中に行っておりました線路の緊急点検及びまくら木の交換等整備作業が完了し、試運転による安全確認ができ6月10日運転を再開することができました。原因については、現在、運輸安全委員会で調査中であり、同委員会による報告書を踏まえ必要な対策を講じていきたいと考えております。

今後、このような事故を二度と起こさないよう、全社員一丸となって再発防止に向けて取り組みとともに、「安全に関する基本方針」を再確認し、安全な運行の確保に向け最大限努力を続ける所存でございます。

これからも、わたらせ渓谷鐵道をご支援いただきますようお願い申し上げます。

わたらせ渓谷鐵道株式会社

代表取締役社長 樺澤 豊

2. 安全に関する基本方針

(1) 基本方針

輸送の安全確保を図ることは、鉄道事業に携わる当社にとって重要な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社は、「安全で安心した輸送」を最重要項目とし、法令遵守と、危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図るとともに、「連携と実績で果たす安全安定輸送」を事故防止活動のスローガンに、社長以下全社員で取り組んでまいります。

(2) 安全目標

運転事故など大きな事故はもちろん、お客様にご迷惑をおかけする輸送障害についても、最大限防止することを目標とします。

(3) 重点実施項目

- ・事故防止管理体制の確立
- ・責任ある作業体制の強化
- ・車両、設備の故障防止
- ・教育訓練の充実

◆ 安全管理体制の確立

社長の強力なリーダーシップのもとに、機動性のある安全管理体制の確立を目指します。そのため、各部門が行う事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その状況を点検しながら推進し、定期的開催する事故防止検討会や、各部門の日常の業務においてもそれぞれの社員が問題意識を共有し、現場にフィードバックする体制を構築してまいります。また、懸案だった新型インフルエンザ対応マニュアルを作成しました。

◆ 車両、設備の故障防止

使用状態に応じた保守管理の強化を図るとともに、更新、修繕、重要部品の計画的取替を推進し、信頼性の向上を図る。

◆ 自主的な事故防止活動の推進

春・秋の全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検にあわせて事故防止検討会を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱等について意見交換や研修を行い、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

<事故防止検討会>



3. 輸送の安全を確保するための取り組み

知識・機能教育を引き続き実施して技術力の強化を図るとともに、突発的な事故等異常時の取扱い、実技訓練を充実して実践力の向上を図ります。また、年度ごとに訓練項目を定め、本線、車両、施設を使用して関係機関とも連携しながら、全社員規模で参加する実設訓練を実施します。

28年度は、運転事故発生時に行う列車防護訓練を実施し、携帯用信号炎管の点火、設置、使用方法について訓練を実施しました。また、平成20年から参加しているJR東日本高崎支社総合復旧訓練にも参加させていただきました。

<列車防護訓練>



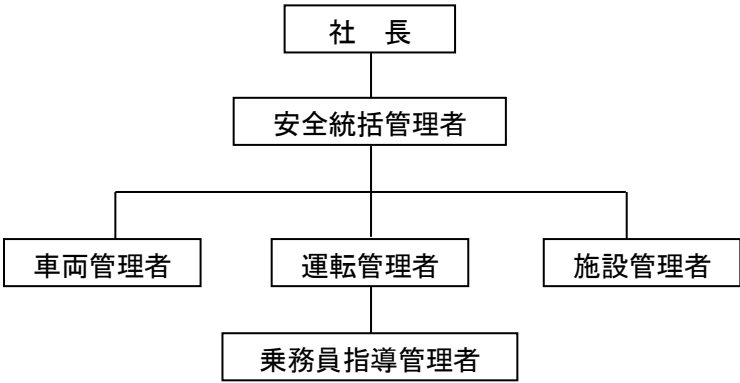
< J R 東日本高崎支社総合復旧訓練 >



4. 当社の安全管理体制

安全管理規程を制定して、社長をトップとした安全組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
施設管理者	軌道・施設に関する事項を統括する。
車両管理者	車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



5. 運転事故・輸送障害の発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害（列車が30分以上遅れたもの）	
	衝突・脱線・踏切事故	設備・車両等の故障	雨などの自然災害
24	0	4	4
25	0	11	6
26	0	4	5
27	0	2	7
28	1	3	5

平成28年度の運転事故及び輸送障害の発生状況について、運転事故は線路内立入りに伴う人身事故、輸送障害については設備車両等の故障は横ばい、台風等の影響による自然災害による輸送障害は減少しましたが、総数としては前年と同じ発生件数となりました。

6. 安全対策実施状況

項 目	施 行 箇 所
【線路施設】 防護設備	防護網設置 上神梅～本宿間他7箇所 防護柵補強 沢入～原向間他1箇所 土留壁補強 沢入～原向間
【車両の更新】 新車1両	わ89-311を廃車しWKT-512号を導入
【踏切保安設備】 4種踏切の1種化	踏切改良 通洞～足尾間 渋川踏切改良
【ホーム】 ホーム改良	原向・足尾（上下）ホーム嵩上

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

わたらせ渓谷鐵道株式会社

TEL:0277-73-2110/FAX:0277-73-3121

URL <http://www.watetsu.com>/E-mail: watetsu@sunfield.ne.jp